

## 大軍拡と大増税に 反対します

戦争か平和か、日本の進路が問われる2023年。  
「反撃能力」＝敵基地攻撃能力の保有、軍事費倍増、増税…  
一片の閣議決定で、勝手に決めてしまっただけではありません。

「攻められたらどうする」と不安をあまり、「日本を守るため」とい  
いながら、「専守防衛」を投げ出し、日米一体で攻撃する自衛隊  
に変えようとしています。

軍事対軍事の対抗の先に、平和への展望はありません。戦争の  
ないアジアにする外交戦略をもち実践することこそ政治の責任  
です。

「国葬」強行、統一協会と自民党の深刻な癒着、長引くコロナ危  
機と物価高騰への無為無策。——政治のゆがみをただし、消  
費減税と賃上げ、公正な経済への転換が急務です。

くらしに、平和に、憲法を徹底的にいかす政治へ。幅広い力で！

2023年1月 山添 拓

## 戦争させない、 平和の選択を

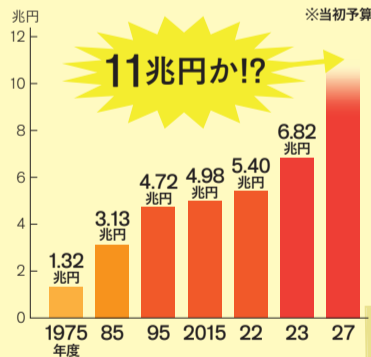


# 安保3文書改定 なにが、どう問題？

Q. 軍事費は増やすべきでは？

A. 増税、予算削減、国債、いずれであれ  
くらしと経済を圧迫します

この先5年で43兆円、年間11兆円もの軍事費に  
なれば、ロシアを抜いて世界第3位の軍事大国で  
す。さらなる増額の可能性もあります。  
軍拡のためと増税や予算の削減を進めれば、  
国民のくらしが脅かされます。戦争国債で財政破  
綻を招いた歴史を繰り返してはなりません。  
軍事費倍増ではなく、教育予算の倍増などくらし  
の予算こそ増やすべきです。



2022年12月6日 外交防衛委員会

Q. 北朝鮮や中国、ロシアも心配  
反撃能力は必要では？

A. アメリカと一体に他国に攻撃できる  
ようにすることがねらいです

政府は「反撃能力」＝敵基地攻撃能力を集团的自衛権の行使で  
用いる可能性を認めています。日本が攻撃されていなくても、ア  
メリカの求めで日米一体に相手に攻め入る、それは相手にとって  
先制攻撃となり、日本への反撃を招きます。「日本を守る」どころ  
か、日本を戦争に巻き込んでしまいます。

日本が軍拡すれば相手にさらなる軍拡の口実を与え、緊張関係  
はよりエスカレートしてしまいます。

Q. ではどうやって平和をつくるのか？

A. 対話と協力の東アジアをつくる  
外交ビジョンが重要です

戦争がひとたび始まれば、命が奪われ街が壊されます。だからこそ、  
戦争にしないことが政治の役割です。

日本共産党は、ASEANに学んで戦争のないアジアをつくる外交ビジ  
ョンを掲げてきました。中国や北朝鮮、敵対し排除するのではなく包  
摂する対話の枠組みは、すでに東アジアサミットとして具体化されて  
います。

アメリカか中国か、大国主導で軍事ブロックをつくり対立するのでは  
なく、地域のすべての国が参加する枠組みで、対話と交渉によって解決  
する——多種多様な国々からなるアジアの本流はここに 있습니다。



# とりくんだ 国会論戦

- 10月13日 外交防衛委員会**  
北朝鮮によるミサイル発射を受けた対応をたず
- 10月20日 予算委員会 TV質問**  
基本的質疑で国葬、統一協会、最低賃金、マイナンバーカード、敵基地攻撃能力で岸田首相と論戦
- 11月1日 外交防衛委員会**  
米軍機がくり返す危険な空中給油
- 11月8日 外交防衛委員会**  
米軍オスプレイの構造的欠陥(クラッチ不具合)
- 11月9日 憲法審査会**  
大軍拡による憲法破壊の危険を批判
- 11月10日 外交防衛委員会**  
8日の質疑での答弁誤りを受け補充質疑
- 11月10日 外交防衛委員会**  
トマホークなど敵基地攻撃能力保有は許されない
- 11月15日 外交防衛委員会**  
COP27、日本政府の消極姿勢
- 12月2日 予算委員会 TV質問**  
統一協会被害救済法案の問題点
- 12月2日 予算委員会**  
二次補正予算案反対討論
- 12月6日 外交防衛委員会**  
敵基地攻撃能力保有は憲法違反
- 12月7日 憲法審査会**  
一票の較差を解消し民意を反映する選挙制度に
- 12月8日 本会議**  
統一協会被害救済法案 代表質問
- 12月9日 消費者問題特別委員会**  
統一協会被害救済法案 洗脳下で救済されず不十分
- 12月10日 消費者問題特別委員会**  
統一協会被害救済法案 実効性ある規制を岸田首相に求める
- 12月10日 消費者問題特別委員会**  
統一協会被害救済法案反対討論



## 統一協会問題

# 自民党との癒着、徹底究明を

安倍元首相の銃撃事件で浮き彫りになった統一協会と多くの自民党議員のずぶずぶの関係。改憲や同性婚反対、共産主義の広がりを阻止するなどを内容とする政策協定は、韓国に本拠を置く統一協会が自民党を通して内政干渉しようとした疑惑です。岸田首相に認識をたずすと、「わが党の政策が影響を受けたことはない」と確信している」との答弁。調査もせず、「ない」と言われても説得力はありません。議員任せでなく、政府として、自民党として、まともな調査を行うべきです。

## 実効性ある被害救済法に



8月30日 追及チームのヒアリング



2022年10月20日 予算委員会

政府が当初、先送りを決めていた救済法案を臨時国会で提出させたのは、世論が求めたからにほかなりません。ところがその内容は、被害救済に取り組む弁護士から「不十分だ」と繰り返し指摘されるものでした。マインドコントロールし、義務感や責任感から自発的に献金させる統一協会の典型的な被害を救済できる、実効ある規制とするために、十分な審議で修正をと求め論戦しました。

6年半で合計276回に!

## とりくんだ活動



9月25日 国葬中止を求める

憲法違反の「国葬」を、世論の多数の反対を押し切り強行するなど許されない。多くの方と声を上げました。



10月5日 学校給食を無償に

都内各地の地方議員のみなさんと文科省に要請。義務教育を無償とする憲法26条に照らせば、無償化は政治の責任。



10月15日 痴漢ゼロをテーマにトーク

痴漢ゼロを求め街頭宣伝やトーク企画に出席。内閣府が初めて実態調査を行うなど前向きな変化も。



10月30日 品川、再開の現場を調査

超高層ビルの建設など再開に23区トップのお金を注ぎ込んでいる品川区。現地を歩き実態をうかがいました。



11月19日 新島・式根島で懇談

医療や水道、輸送費がかさむうえに燃料価格高騰が襲う物価など離島ゆえの困難をうかがい対策の必要を痛感。



12月22日 東京電力福島第一原発を調査

原発の再稼働、延命、新增設に舵を切る岸田政権。事故はまだ終わっていません。汚染水の海洋放出などもってのほか。



10月16日 初出演で論戦

テレビ出演

## NHK日曜討論に初出演

新たに外交防衛委員会の所属となり、敵基地攻撃能力保有がテーマとなった2回で出演。他党と論戦し、軍拡ではなく平和外交をと主張しました。

YouTube 山添拓チャンネル



国会切り抜き動画などを随時ご紹介しています。ぜひ、チャンネル登録を!

